

2019年

3月号No. 97

毎月6日発行



原水協通信 (茨城版)

原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281 茨城平和会館内
TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生

原水協通信
頒価 ¥220/月

核兵器廃絶署名
41, 550筆
('18.12/3)

拡大4役会議のお知らせ

4月9日(火) : 15:00~17:00

みと文化交流プラザ101号会議室

話し合うこと:

① 平和行進関連文書

② 総会議案(5月26日開催予定)

2020年へ向け、今年の見込みをどう成功させるか。

なんとでも平和行進、総会を成功させるため、「拡大4役会議」を開催しますので、万障繰り合わせの上、ご参加ください。併せて出欠のご連絡をお願いいたします。



2019年原水爆禁止国民平和行進コース

● 宿泊地 ○ 訪問自治体名 ○/○の月日表示は行進日

2019年度 原水爆禁止国民平和行進 茨城県実行委員会・結成会議開く

2019・2・16 みと文化交流プラザ

一昨年七月に、国連で採決された「核兵器禁止条約」は現在、70カ国が署名、22カ国が批准しました。いま、「禁止条約」の批准を巡る争いが激しく、今後の米朝関係が懸念されますが、北東アジアの平和の発信地となるなら、アジアのみならず世界情勢に積極的、かつ多大な影響を与えることでしょう。

唯一の被爆国日本の役割が、問われています。核保有国との「橋渡し」どころか条約の妨害者の役を担っており、政府を変えることが局面打開への唯一の道ではないでしょうか。

平和行進のこれからの課題

- ① 2020年に向け、各地に署名推進連絡会の結成を急ぐとともに、原爆の実相を伝えましょう。
- ② 各自治体に署名コーナー、被爆者援護・連帯募金箱の設置をお願いし、首長懇談に取り組みましょう。
- ③ 東海第二原発を再稼働させず、廃炉を目指し、原発ゼロ・自然エネルギーへの転換に県内団体と連携しましょう。
- ④ 沿道からも参加できるような平和行進にするため、音楽を入れるなどの工夫をしましょう。
- ⑤ 2019年原水爆世界大会を成功させよう。
- ⑥ 小中学生の平和大使の派遣を自治体に働きかけましょう。



「ばらの祈り 死の灰を越えて」頒価1,000円

この本は、静岡の女性・仲良し三人組が初めて作った絵本です。4年前に同名の紙芝居を作り、今回英語も併記した絵本にしました。

今は亡き第五福竜丸の無線長夫妻の思いを「核兵器なくして」の声を世界中に広げましょう。「日本母親大会」も、ビキニ被災による台所の汚染から、婦人のパワーで立ち上げたのです。ご注文は、茨城県原水協まで。(柳)

今月の草花



角胡麻(ツノゴマ)

今月はちよつと恐い植物をご紹介します。皆さんこの植物を見たことがありますか？別名を「悪魔の爪(英名:デビル・プランツ)」といいます。「食虫植物」つまり、虫を捕らえて食べてしまいます。葉・茎が粘液でネバつき、消化・吸収します。

以前、城里の友人から頂き、初めて知りました。花はご覧のように可憐な黄色で、この姿は「旅人泣かせ」ともいわれます。旅人が誤って踏むと、とんでもないことに。食べられるようですが、非常にまずいということです。(柳)

取手の学習会に、ぜひご参加下さい！

■講演内容

- 土田さんが語る「核兵器禁止条約採択後の世界の動きと日本の動き」
- 核兵器禁止条約の採択に至るまでの国際世論の動向
- 広島・長崎での原水爆禁止世界大会や国民平和大行進
- 国際アピール署名やヒロシマ・ナガサキヒバクシャ署名
- 唯一の戦争被爆国日本の実相を伝える運動、活動が核兵器の非人道的側面からのアプローチの国際世論形成に果たした役割。
- 軍事大国・核保有国の思惑を克服したものは

逆流を許さず！核兵器のない世界を！

「核兵器禁止条約採択後の世界の動きと日本の動き」

土田弥生さん
(日本原水協)
が大いに語ります



3月10日(日)9時30分開場 10時開会

取手福祉会館2階小ホールにて

資料代
300円



講師 土田弥生さんのプロフィール
日本原水協事務局次長・国際部長
国際平和ビューロー運営委員
主催：核兵器廃絶署名推進取手の会 代表 花澤 楓
連絡先：0297-82-5652 (渡辺)

小国と言われる国々や市民運動の影響、反映（「コスタリカの軌跡」の上映会昨年の平和の集いで実施）核兵器禁止条約採択後の国際的世論、運動の高まり、動向（発展）と逆行する日本政府の対応

○米国トランプ大統領の言動、INF（中距離核戦力全廃条約）からの脱退などの逆流をどう克服するか。

2020年NPT会議に向けた取り組みと禁止条約の発効に向けた取り組みに何が必要か。

等々の思いと平和憲法を守り活かす運動の展望や確信にも大きな影響が考えられます。

憲法ソング わたしのねがい

憲法ソング作詞大賞
土浦の小1・尾池ひかりさん



左の写真の尾池ひかりさんは、日弁連の「憲法を詩（うた）おうコンテスト」で大賞に輝きました。母親が、戦争を体験した祖母（ひかりさんの曾祖母）から語り継がれた話を聞き、繋がった命に「へいわをまもる憲法」がこのままで、の願いを託した詩となりました。

作詞 尾池 ひかり
作曲 谷川 賢作
演奏 Diva 高瀬 麻里子 (V.O.)
谷川 賢作 (Pf) 大坪 寛彦 (B)

わたしはせんそうをしらない
おかあさんもしらない
おばあちゃんもしらない
でも、ひいはあちゃんはしっている
えきでへいたいさんをみおくれたかえり、
ひこうきがとんできて
「きじゅうそうしゃ」で
やられそうになったって
はしってはしってはしって
ようやくにげたって
ひいはあちゃんがいきたから
おばあちゃんがつまらぬ、
おかあさんがうまれ、
そしてわたしがうまれた
へいわをまもるけんぼう
いのちをつなぐけんぼう
わたしがあおきくなっても
このままのけんぼうであること、
それがわたしのねがい

ピキニ被災65年

今年の「3・1ピキニデー」は、米朝会談の真つ最中でもあり、韓国では「3・1独立運動（日本では万歳事件）」から百年目になります。南北の分断は、日本も密接に関わっています。文在寅（ムン・ジェイン）大統領は式典で「歴史の立て直しこそが重要であり、未来志向であらねばならない」と訴えていた。

海外代表はアメリカからジョセフ・ガーンソンさん、リトアニア緑の党のゲディミナス・リムディカさん、韓国のイ・ジュンキュさん、マーシャル共和国から元上院議員のアルバッカ・アンジンさんがそれぞれ参加。

二日目は「被爆者の生きているうちに核兵器廃絶を」を胸に、久保山さんの墓のある弘徳院までコールしながら行進しました。

茨城県原水協からは七名、茨厚労からは九名が参加しました。

編集後期

核兵器禁止条約の批准国が、22カ国になりました。しかし日本政府は相変わらず条約に背を向け続け、一部に「潜在的核保有国」とまで言われています。

米朝会談は不調に終わったようですが、私たちは一喜一憂せず、政府の態度をいかに正していくかを模索し続けましょう。

私たちは国家的犯罪を問う「ピキニ国賠訴訟」に勝利し、どうしても裁かなくてはなりません。（柳）



写真 (上) 全体集会第二会場
(下) 墓参行進